

ADVISER

キャリアコンサルタント
村本麗子氏



ビジネススクール東京・札幌の上席講師として年200回以上の授業に登壇。公共団体や企業への研修の提供や、企業、経営者、起業家へのコンサルティングや講演など、活動は多岐にわたる。脳科学理論をベースとしたコーチングでは、北海道における第一人者。株式会社ヒト・ラボ代表取締役。

キャリアアドバイザーに聞いた!



転職サリセス への道

ROAD TO "TENSYOKU SUCCESS"

vol.34

起業準備としての転職とは?

「将来的に起業をしたい!」という思いがある人にとって、ビジネス現場は大切な勉強の場。どんな職場を選ぶと、より充実した起業準備ができるのでしょうか?

一人何役もこなすベンチャーは
会社の全容が見えやすい

将来起業をしたいと考えて、ビジネススクールや夜間大学に通う人も少なくありません。もちろん、学校で学べることもたくさんありますが、ビジネスの現場で実践的に学べることもたくさんあるのです。

まずは会社というものについて見てみましょう。組織の構造は、おおまかに次の3つの要素から構成されています。

- ・経営（ビジョンや戦略を立てる部署）
- ・実務（実際の業務を行う部署）
- ・管理（総務や経理、広報などを行う部署）

一人で起業する場合にはこの3つをすべてこなすか、自分でできない部分についてはアウトソーシングすることになります。大企業に勤めるよりも、小規模な会社、特にベンチャー企業で働く方が一人何役もこなす傾向があるため、会社の全容が見えやすく、起業準備には適していると言えるでしょう。経

営者のライフスタイルを間近で見られることも、起業後の生活をイメージするのに役立ちます。

ゼロからの起業以外にも
独立への道はさまざま

とはいえ、大企業勤務が起業にとって不向きかというと、決してそんなことはありません。意識的に観察することで、他部署の様子を含めさまざまなものが見えてきます。

さらに、起業は必ずしもゼロから始める必要はなく「大企業に勤めて社内ベンチャーを立ち上げ、将来的に独立する」「後継者がいなくなったり、経営に行き詰まっている小さな会社を買い取る」などの方法もあるのです。

万全の準備を整えるより
積極的に動いて夢を実現!

「将来的に起業を考えています」という方に幾度となくお会いしてきましたが、そのなかには「十

分な準備をしてからでないと心配」「社会の先行きが予測できないから不安」と言う方がよくいます。ですが、今の社会において先の見通しを立てることは非常に難しく、市場予測の専門家ですえ、正確な予想をすることは困

難です。どんなに準備をしても「これで大丈夫」はあり得ません。それよりもどんどん行動し歩を進めていくことが大切です。その一歩の踏み出しが夢をかなえ、未来の経営者をつくるのです。